

第32回全日本実年ソフトボール大会要項

- 1 主 催 公益財団法人 日本ソフトボール協会
- 2 主 管 一般社団法人高知県ソフトボール協会
- 3 後 援 高知県、高知県教育委員会、（公財）高知県スポーツ協会、（公財）高知県スポーツ振興財団
（公財）高知県観光コンベンション協会、NHK高知放送局、高知放送、高知新聞
- 4 会 期 2023年11月23日（木）～11月25日（土）
- 7 会 場 高知県高知市 県立春野総合運動公園
高知県土佐市 土佐公園グラウンド
- 8 参加チーム数 48チーム。（各県1チーム、開催地1チーム）
- 9 参加資格 (イ)令和5年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して加盟登録した実年チームに限る。
(ロ)所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。
- 10 出場資格 (イ)本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(ロ)選手の編成は、最終予選終了時まで公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。今回、特例として沖縄県開催時に申し込んだ選手に変更を認める。
変更のあるチームは、11月1日必着にて、登録名簿（B表）の写しをPDF・プログラム掲載用選手名簿のExcelデータを日本ソフトボール協会ならびに高知県ソフトボール協会に送信すること。
(ハ)チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー1名、選手25名以内。
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
※通訳1名（外国人選手がいる場合に限る）のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※トレーナーは選手の健康管理ができる者とする。
※監督・コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者（監督代行になり得る者）がいなければならない。
指導者資格保持者は試合中、ベンチ内にいなければならない。
※試合開始前に本人確認を行うため、指導者登録書と身分証明書を携帯すること
①公認コーチ1～4（旧資格名：公認ソフトボール指導員・上級指導員・公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ）
②ソフトボールスタートコーチ
③公認準指導員
- 11 申込み方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け7月24日（月）までに到着するよう下記宛に申し込むこと。
（1）〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
※日本協会へは参加申込書のコピーのみ送付。（押印のある参加申込書とプログラム掲載用選手名簿の用紙）原本は、（2）の送付先に送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は所属支部協会に所属支部協会が保存する登録名簿（B表）と参加申込書の照合確認を受け、登録名簿（B表）の写しも同封し送付すること。
ただし、日本協会登録システムでチーム登録を行っているチームについては、登録名簿の送付は不要とする。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は指導者資格登録証のコピーなど資格保有を証する書類のコピーを添付すること。
（2）〒903-0117 沖縄県中頭郡西原町翁長451 2F 西原 洋市郎
第32回全日本実年ソフトボール大会事務局 宛1通
携帯：090-9405-8160
E-mail：okinawa.softballassociation@gmail.com
※参加申込書原本及び調査書等は（2）宛送付すること。また、プログラム掲載用選手名簿は、Excelファイルでメール送信すること。（プログラム掲載用選手名簿のExcelファイルは、沖縄県ソフトボール協会ブログ（<http://okisa.blog.fc2.com>）に掲載しているので、ダウンロードして使用してください。
- 12 参加料 1チーム 50,000円

- 13 競技規則 2023年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 14 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球（内外ゴム）とし、主催者が準備する。
- 15 試合方法 トーナメント方式による。
1回戦～準決勝戦は90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次イニングよりタイブレークにより試合を続行する。但し、タイブレークは2イニングまでとし、タイブレークで2イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。得点差コールドゲームは採用しない。
ただし、決勝戦は時間制限を設けず、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。
サスペンデッドゲームを採用する。
- 16 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する。
(3) 3位チームに、表彰状、3位メダルを授与する。
(4) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする。
(5) 個人表彰として最優秀選手1名優秀選手1名を表彰する。
- 17 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 18 組合せ 沖縄県での組み合わせを使用
- 19 監督会議 11月22日(水)18時00分より春野総合運動公園陸上競技場会議室において開催する
なお、監督はユニフォーム着用で出席すること。
- 20 審判・記録会議 11月23日(木)8時より春野総合運動公園ソフトボール場において開催する
- 21 開会式 開催しない
- 22 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行なうと共に、公益財団法人日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険（死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円）の範囲内で補償を行なう。なお、参加者は全員健康保険証を持参すること。
- 23 その他 (1) 出場チームは必ず監督（引率責任者がいる場合は引率責任者）によって引率され、監督（引率責任者）は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
棄権チームに対する処置：当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
※組合せ抽選終了後の出場辞退も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
※新型コロナウイルス感染症の影響による棄権については、上記処置は適用しない。
棄権チームに対する処置は、日本協会倫理委員会にて審査し日本協会理事会で決定する。
(3) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
(4) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
(5) 試合中、頭部外傷の恐れが生じた場合には、出血を伴わなくても代替プレーヤーを使用することができる。
(6) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。

【本大会の問い合わせ先】

一般社団法人高知県ソフトボール協会

事務局長 中平 勝己

〒781-0311 高知県春野町芳原2445-3

携帯：090-9456-1259

E-mail: kochisoftball@vesta.ocn.ne.jp